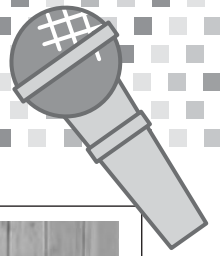


新規採用教員へのインタビュー



橋口 直人 はじくち なおと

真庭市立勝山中学校教諭
(令和3年度採用)

自己紹介

昨年4月に中学校教諭として採用され、現在3年生を担当しています。テニス部の顧問をしています。中学校から大学までテニスをしてきた経験を生かしチームを強くしたいです。また、最近オオクワガタを飼い始め、90mmオーバーの個体を羽化させるのが夢です。そのために、日々YouTubeなどで勉強しています。

Q 教員を目指した理由を教えてください。

中学時代から理科が好きで得意でした。高校時代に私の進路のことで、当時の担任の先生が自分事のように親身に相談に乗ってくれました。その時、教員は人の人生に大きな影響を与える存在であると感じ、私も将来、そのような人になりたいと思うようになり、教員になることを目指しました。

Q なぜ中学校の教員になろうとおもったのですか？

もともとは高校の教員を志望していましたが、高校の理科では、物理、化学など専門に分かれています。私は理科分野全般に興味を持っていたので、広くその魅力を伝えたいと思い、中学校の理科教

員を目指しました。また、部活動の指導も積極的に関わりたいと考えていたので、中学校の教員を選びました。

Q 採用されてから、この1年どうでしたか。

採用前まで久米南中学校で2年間、勝山中学校で1年間講師をしていました。それら中学校での教科指導、生徒指導の経験を生かして、この1年取り組むことができました。先輩教員や子どもたちに恵まれた環境でこれまでやっていくことができました。

Q 仕事の中で、どのようなことに気をつけていますか？

講師時代に先輩教員からいただいた「授業で納得させられない子どもたちはついてこない」「学級経営ではとにかく褒める」というアドバイスを意識して、子どもたちと関わっています。理科の授業では、できるだけ身近な題材を取り上げ、子どもが実際に目で見て、触れて体験する中

で学ぶことができるよう工夫しています。学級経営では、1年間で子どもたち一人一人が活躍できるポイントを見極め、活躍の様子を見ることができたときは、しっかりと褒めるようにしています。また、授業では、指示を少なくし、生徒が疑問に思ったことを解決できるような授業展開をしたいと考えています。「めあて」を生徒の反応を見て調整したり、十分な「振り返り」の時間をとったりして、学習内容や疑問を整理して次の授業に臨めるようにしています。

Q 理想の教師像を教えてください。

子どもたちに「問題を見出す力」「問題を解決する力」を身に付けさせたいと考えています。子どもたちが自分たちで考えて行動できるようにする。それをしっかりとサポートできる教員を目指しています。さり気ない仕掛けで、子どもたちの自己肯定感を高めることができましたらと考えています。そのためにも今は、とにかく先輩教員の授業を見学し、職員室内での雑談の中からノウハウを盗むことができよう心掛けています。

Q 教員採用試験の対策について教えてください。

講師時代には、先輩教員に個人面接の練習に付き合ってもらったり、模擬授業を講師仲間と練習しあったりしていました。また、『教育時報』は毎号欠かさずに読んでいました。実際に読んでいた内容が、出題されたので読んでいてよかったです。

Q 休みの日は、どんなことをして過ごしていますか？

部活動が趣味です(笑)。中学時代からソフトテニスをしており、今も週末には部活動の後に、先輩教員や地域の人たちとソフトテニスをしています。体を動かすことが好きで、真庭で生活していることもあり、最近ではスノーボードを始めました。

また、最近はしていないのですが、地元の島根県で石見神楽を幼少からしていました。これまでに韓国や東京など、いろいろな場所で公演をさせていただいています。機会があれば生徒達にも見せたいなと思っています。